

化学研究所は2026年10月に創立100周年を迎えます。記念すべき節目を目前に控え、ここでは昨年末の公開講演会の様子とともに、現在準備を進めている100周年記念事業について紹介します。

01 化学研究所第二回公開講演会「京都の化学・化研の歴史」

令和7年12月24日、宇治おうばくプラザき はだホールにて、化学研究所第二回公開講演会「京都の化学・化研の歴史」が開催されました。名誉教授をはじめとする関係者約200名が参加しました。

講演に先立ち、講演者および名誉教授の方々を交えたキックオフ会議が碧水舎にて開催されました。所長および100周年記念事業委員会の委員らが出席し、会場に展示された化学研究所創立時からの貴重な資料を見学した後、今後の記念事業に向けた意見交換が行われました。

講演会は、100周年記念事業委員長 梶弘典教授の挨拶に始まり、若宮淳志 教授の司会のもと、3名の講演者を迎えて講演が行われました。

西山先生は京都大学全体から見た化研の歴史についてご解説くださいました。山崎様からは化研の研究が産業化された一例である耐熱ガラス研究や同社の製品について紹介がありました。金久先生にはデータベースの歴史やご自身が立ち上げたKEGGの事業についてお話いただきました。

講演を通じて参加者が化学研究所の歩みを共有し、100周年記念事業に向けての機運醸成がさらに高まる会となりました。



講演者・講演タイトル



西山 伸 京都大学文学部 教授
『京都大学百二十五年』と『化学研究所百年』
—歴史から考える—



山崎 博樹 日本電気硝子株式会社 常務執行役員
「化研との共創により生まれた
結晶化ガラスとその展開」



金久 實 京都大学化学研究所 特任教授
(株式会社パスウェイソリューションズ 取締役・KEGGプロジェクト代表)
「ケミストリー・ゲノム・情報・ビジネス」



詳細は
こちらから



主催：京都大学化学研究所 共催：京都大学総合博物館
後援：京都府教育委員会、京都市教育委員会、宇治市、宇治市教育委員会

03 企画展「時を超える化学 ～京大化学研究所100年の人と挑戦～」

大阪市立科学館と共催し、創立 100 周年記念特別展「京都の化学・化研の歴史」からの一部巡回にて、20世紀から21世紀にかけての化学研究の成果と社会への応用について紹介します。さらに、未来に向けた最先端研究も展示解説します。

会期 2027年
2月5日(金)～4月11日(日)
会場 大阪市立科学館 1階
みんなのサイエンス・ラボ



04 創立百周年記念講演会・記念式典

開催日 2026年
10月30日(金) 会場 京都大学
百周年時計台記念館 百周年記念ホール

02 創立100周年記念特別展 「京都の化学・化研の歴史」

創立以来100年にわたる化学研究所の歴史と成果をわかりやすく紹介し、化学がもたらした科学技術の進展や社会への貢献について考察します。また、特にこの京都という地において、化学研究所の研究が企業の発祥や発展にどのように寄与してきたのか、その繋がりなども紐解きます。最新の研究成果も紹介しながら、化学研究所の過去・現在・未来を見つめます。

会期 2026年
10月7日(水)～11月29日(日)
会場 京都大学総合博物館
南館2階企画展示室

